

領 収 書

平 進 介 様

印 紙

千	百	十	百	十	百	十	百
	1	4	2	2	8		

但し 10/12 ~ 10/13 分

上記の通り領収致します

平成 28年 10月 14日



山形県長井市栄町3番10号

株式会社中央タワシ

代表取締役社長 目 黒 憲 夫

TEL 0238 (84) 2157

山形銀行長井支店(普) 0363774

取扱者印



毎度有難うございます。今後とも御利用下さいますようお願い申し上げます。

27.6 2×50×100冊

安全と親切を  
乗せて走る

領 収 証

No. 8627

平 進 介 様

収入印紙

領収金額	百	千	円
	48	600	00

但し 市政事務料

上記の金額正に領収致しました

平成 28年 10月 24日

請求額	
内 訳	現金 <input checked="" type="checkbox"/>
	小切手
	手形
	相殺
	振込
値引	

扱者印



CREATIVE PRINTING

株式会社 サンノ 企画印刷

sanno plan printing corporation

〒993-0035 山形県長井市時庭1-567

TEL0238-88-5208 FAX0238-88-3855

金額訂正及び社印取扱者印  
無きものは無効です。

## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-05-1785009		A93220001
取扱店	ナカイ	
払込口座	00100-6	34749
払込金額	*29,484	料金 *0

  

振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)	001006 34749
	イマジン出版株式会社 〒29484
	山形県五井市鶴巻100 平 通介 様
	入金額 *30,084 おつり *600

新生活応援キャンペーン実施中!  
詳しくは、貯金窓口へ。

印紙税申告納付につき趣町税務署承認済

## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
28-11-1285009		A93110004
取扱店	ナカイ	
払込口座	00100-6	34749
払込金額	*29,484	料金 *0

  

振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)	001006 34749
	イマジン出版株式会社 〒29484
	山形県五井市鶴巻100 平 通介 様
	入金額 *30,004 おつり *520

ゆうちょ口座間送金は月3回まで無料、月4回目以降1件につき123円

印紙税申告納付につき趣町税務署承認済

平 進介 様

イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

TEL 03-3942-2520

FAX 03-3942-2623

下記の通り御請求申し上げます。

¥29,484

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2016年5月号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2016年6月号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2016年7月号 上・下	2	2,430	4,860
4	D-file 2016年8月号 合本	1	3,024	3,024
5	D-file 2016年9月号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2016年10月号 上・下	2	2,430	4,860
7	Beacon Vol.66(夏号),Vol.67(秋号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	13	29,484

振込口座 みずほ銀行 江戸川橋支店(普)1327831

平 進介 様

イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

TEL 03-3942-2520

FAX 03-3942-2623

下記の通り御請求申し上げます。

¥29,484

行	商 品 名	部 数	定 価	合 計 金 額
1	D-file 2016年11月号 上・下	2	2,430	4,860
2	D-file 2016年12月号 上・下	2	2,430	4,860
3	D-file 2017年1月号 合本	1	3,024	3,024
4	D-file 2017年2月号 上・下	2	2,430	4,860
5	D-file 2017年3月号 上・下	2	2,430	4,860
6	D-file 2017年4月号 上・下	2	2,430	4,860
7	Beacon Vol.68(冬号),Vol.69(春号)	2	1,080	2,160
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
摘要		合 計	13	29,484

振込口座 みずほ銀行 江戸川橋支店(普)1327831

## 行政視察結果報告書（政務活動費）

視察月日	平成 28 年 10 月 12 日（水）～ 10 月 13 日（木）
視 察 項 目	1. 仙台子ども体験プラザ事業について（宮城県仙台市）
	2. 「(株)デ・リーフデ北上」について（宮城県北上市）
	3. 「モリウミアス」について（宮城県石巻市）
1. 仙台子ども体験プラザ事業について	
(1) 事業内容	
<p>仙台市では、小・中学生段階での仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」のさらなる充実と推進を図るため、中東のカタール国からの被災地復興支援「カタールフレンド基金」の事業採択を受け、経済教育団体である「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」の教育プログラムを活用し、企業や市民と幅広く連携し「ステューデントシティ・ファイナンスパーク事業」を実施している。場所は、仙台市青葉区の「AER」8階に開設。施設の面積 925 m<sup>2</sup>。</p> <p>（具体的な内容）</p> <p>①小学生高学年を対象とした「ステューデントシティ」</p> <p>施設の中に、市役所、銀行、商店、新聞社等からなる実際に近い「街」を再現し、児童が商品の販売や営業を行ったり、消費者として計画的に物を買ったりするという活動を交互に体験するプログラム。</p> <p>働く側（労働）と買う側（消費）の両方の体験を通して、児童が社会の仕組みや経済の働きを理解するとともに、働くことの意義や仕事を通じて支え合っていることを学び、児童に望ましい勤労観や職業観を育てる。</p> <p>②中学生を対象にした「ファイナンスパーク」</p> <p>ステューデントシティと同様に、施設の中に「街」を再現し、年齢、家族構成、年収等の与えられた条件の中で、一人の社会人として、1か月の生活設計を行うプログラム。税金や保険を始め、食費、家賃、光熱水費や物品の購入など、消費者として生活設計を行うことを通して、望ましい金銭感覚や社会にあふれる情報を適切に選択収集し、判断する力、自らの生き方につながる生活設計力を育成し、その後の進路選択や将来設計につなげる。</p> <p>③協賛企業</p> <p>ステューデントシティは、10 企業のブースと市役所ブース。ファイナンスパークは、13 企業のブースと公共料金ブース（ガス、水道、病院等）、新聞コーナーを設置。</p> <p>【視察して】</p> <p>この事業は、仙台市のキャリア教育である、たくましく生きる力を醸成するための事業で、小学校から中学校、高校までの一貫教育としている。仮想体験を通しながら、将来、社会人となったときに、働くことの意義や仕事の内容等</p>	

について、また、自分の生活設計の疑似体験を行っている。小学校は、基本的に5年生の時に1回、中学生は3年生の時に1回体験を行う。

仙台市には、小学校121校、中学校63校、中等1校の185校があり、これらの児童生徒が体験するだけで、年間スケジュールは一杯になるという。

開設に当たっては、カタール基金から復興支援ということで1億5千万の資金援助を受けている。そのほかにも仙台市の負担はあるという。また、管理運営費用は、年間約2千万円、子どもたちがここに来るための交通費約1千万円、テキスト・ワークブック代等を含め、年間4千万円から5千万円の持ち出しとなっているという。

長井市においては、長井小学校第一校舎を免震・耐震化し、「学びの場」として活用したいとしているが、仙台市のこのような大規模な事業展開は、予算規模、応援企業等の状況から非常に厳しいと感じられた。

ただ、自治体の予算規模にとらわれず、こうした理念に基づく、子どもたちのキャリア教育は方法を変えながら実践していくことが重要であると感じた。

## 2. 「(株)デ・リーフデ北上」について

東日本大震災の被災地からの復興として、地元の異種企業の5人が集まって平成26年4月に法人を設立した。

次世代施設園芸導入加速化支援事業を受け、オランダ型の先進的な栽培技術を導入し、高度な環境制御技術による周年・計画生産を行っている。生産品目は、トマトとパプリカで、無菌ハウスによる水耕栽培で行っている。

エネルギーは、木質バイオマスボイラー、地中熱交換ヒートポンプ等の地域資源を活用するとともに、LPGガスも使用している。

トマトの作付面積は、1.1ha、パプリカは1.3haと巨大なガラスハウスが立ち並ぶ一種の工場のような。事業費は、団地基盤整備工事14億2200万円で、うち補助が8億とのこと。

見学は、本来受け付けていないとのことだったが、この度は、特別にご案内いただいたということで大変ありがたい。

東日本大震災から5年半が経過した。まだまだ復興に時間がかかっているが、この施設のように、生産開始までこぎつけたところもある。これまでの生産技術から一転し、最先端の技術力をもって取り組もうとする代表の方の熱い思いが感じられた。

従業員は、臨時の方を含め39名ほどであったが、経営理念である「愛ある強い農業を通して、人々の心を豊かにし、健康で笑顔あふれる社会を築こう」という社名の「デ・リーフデ」(オランダ語で「慈愛」)に感銘を受け、一日も早い復興をと強く心に願った。

## 3. 「モリウミアス」について

森と海と明日へ

豊かな森と海に恵まれ、自然風景と伝統が色濃く残る石巻市雄勝町。東日本大震災によって町の8割りが壊滅してしまいましたが、地域の復興への思いから、高台に残る築93年の廃校が新たな学びの場として生まれ変わった。

モリウミアスは、こどもたちの好奇心と探求心を刺激する複合体験施設。暮らしと自然が共存する環境を学び、それを活かしたアクティビティや多種多様な交流を通じて、たくましく生きていく力が湧いてくる。こどもたちが自然と向き合って多くのことを学ぶように、まちを訪れる人たちとの交流は雄勝町がより豊かに育っていくためのきっかけにもなる。こどもたちと地域の明日をつくるために、モリウミアスは新しい出会いを生み出していく。

森と海に囲まれた雄勝町に、かつてこどもたちが通っていた築93年の廃校。これを復元し、もう一度学び舎として再生するために地域の人たちや多くのボランティアが立ち上がり、本当に手作りの校舎が完成している。

昔懐かしい木のぬくもりが感じられる再生された校舎。とても立派とはいえない、その風貌だが、再生に向け手をかけた人たちの温もりや、その思いを感じ取ることができた。裏山には、大きな豚を飼育し残った残渣などを与えながら飼育している。夏には、漁師の舟で漁を体験し、庭には稲も植えていた。

豊かな自然と雄勝で暮らす人たちと触れ合うことで、このモリウミアスに滞在するこどもたちに未来が開けるなにかしらのきっかけをつくりたい、その思いが伝わってくる。心を病むこどもたちが増えてきている中、これまでの教育から新しい教育の形を示唆しているような感じである。雄勝町の復興に役立てながら、心身ともに豊かな社会をつくり上げていければと願う。

基本は、春休みや夏休みの期間中の宿泊体験が主のようであるが、会社の社員研修などにも要請があるようで、私たちが訪れたときにも、10人ぐらいの社員研修が行われていた。

長井小学校第一校舎も学校施設からは離れるものの、学びの場として利活用される。長井のこどもたちの学校教育にとどまらない社会学習や自然学習などの学びを通して、豊かな心をもつこどもたちに育ってほしい。

そうした願いを市民の多くが共有すれば、登録有形文化財である第一校舎は長井の文化財産にとどまらず、これからのこどもたちを成長させる重要な拠点として永く残るのではないだろうか。

私たちもそうした思いを込めて活動していきたい。

以上のとおり報告します。

平成29年4月5日

長井市議会議員 平 進 介



長井市議会議長 様